

読む・百人一首 087

寂蓮法師

村雨の

露もまだひぬ

まきの葉に

霧立ちのぼる

秋の夕ぐれ

むらさめの

つゆもまだひぬ

まきのはに

きりたちのぼる

あきのゆふぐれ

読む・百人一首 088

皇嘉門院別当

難波江の

蘆のかりねの

ひとよゆゑ

身をつくしてや

恋ひわたるべき

なにはえの

あしのかりねの

ひとよゆゑ

みをつくしてや

こひわたるべき